

## 地方都市行政調査 報告書

委員会	区民委員会		
調査年月日	令和6年10月23日(水)	調査場所	長野県長野市
委員	委員長 伊藤 のぶゆき 副委員長 横田 ゆう 副委員長 石毛 かずあき 委員 さの 智恵子 委員 市川 おさと 委員 くじらい 実 委員 岡田 将和		

調査項目	住民自治リフレッシュプロジェクトについて
調査の目的	自治会加入率向上に向けた研究として、住民自治リフレッシュプロジェクトを調査する。
調査内容	<p>人口減少と高齢化の進行、定年延長やコロナ禍など社会情勢の変化の影響により、住民自治協議会の活動は縮小され、担い手不足や負担感の増大などの課題が顕在化している。長野市では、こうした課題に対応するため住民自治リフレッシュプロジェクトを立ち上げ、行政と住民組織の関係、住民との協働の在り方の見直しを図っている。</p> <p>長野市では、まず行政から住民に依頼している事務等を見直すことで、住民の皆さんにも必要に応じて独自の活動の見直しをしていただけるように取り組み、地域の力を活かした「楽しい住民自治」の実現、持続可能な誇りある地域を目指している。</p> <p>については、本事業における長野市の取り組みについて調査した。</p>
主な質疑	<p>(問) 住民自治協議会で働く役員の年齢について伺う。</p> <p>(答) 60歳後半から70歳後半までの人が大半を占めている。中には若い人もいるが、住民自治協議会のなかで何かを担う場面は少ない。</p> <p>(問) 住民自治協議会に一元化するのにかかった期間について伺う。</p> <p>(答) 住民自治リフレッシュプロジェクトの立ち上げから、各地区の見直すべき課題を住民に対して説明することを合わせて、おおむね2年間かかった。</p> <p>(問) 住民自治協議会の事務等の見直しとは具体的に何を行ったのか伺う。</p> <p>(答) 当初22事務あった必須事務のうち6事務を廃止させ、16事務に変更した。また必須事務を選定するさいの条件を厳しくすることで、住民自治協議会の負担軽減に努めた。</p> <p>(問) 町会費について伺う。</p> <p>(答) 年間数千円から数万円が徴収されている。</p> <p>町会費は各地区で設定しているため、地区によって様々だが、農村地域の方が共同体意識の高さから割高になる傾向がある。</p>
委員長所見・区政に活かせる点等	<p>社会情勢の変化に合わせて、行政と住民組織の関係、住民との協働の在り方について見直しを図る住民自治リフレッシュプロジェクトは、自治会加入率の向上を目指す当区にとって、大変参考になるものであった。</p>

## 地方都市行政調査 報告書

委員会	区民委員会		
調査年月日	令和6年10月24日(木)	調査場所	石川県(現地視察:石川県立図書館)
委員	委員長 伊藤 のぶゆき 副委員長 横田 ゆう 副委員長 石毛 かずあき 委員 さの 智恵子 委員 市川 おさと 委員 くじらい 実 委員 岡田 将和		

調査項目	石川県立図書館について														
調査の目的	図書館利活用の研究のため、石川県の石川県立図書館を調査する。														
調査内容	<p>※以下の内容について施設(石川県立図書館)の見学を行った。</p> <p>1 図書館の概要</p> <p>金沢市本多町にあった旧県立図書館は昭和41年に開館。建設から半世紀を超えて老朽化が進み、耐震基準を満たしていないことや、閲覧スペースが狭く、書庫が分散して設置されていること、駐車場が少ないといったことから移転・建替が計画された。</p> <p>令和4年7月16日、金沢大学工学部跡地に開館された現在の石川県立図書館は、県産の木材を多く使用し、温もりある落ち着いた空間を創出している。図書館内部は吹き抜けを多くの書架が取り囲む円形劇場のような大閲覧空間となっており、各階に閲覧エリアと図書館で学んだことを実際に体験できる文化交流エリア、1階にはこどもの「遊び場」を思わせるようなこどもエリアが設けられている。こどもエリアでは、植物や昆虫の観察会、農作物の収穫体験を行うことが可能である。</p> <p>2 建物の概要</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(1) 敷地面積</td> <td>約33,000㎡</td> </tr> <tr> <td>(2) 建築面積</td> <td>約7,300㎡(旧図書館:約2,000㎡)</td> </tr> <tr> <td>(3) 延べ面積</td> <td>約22,000㎡(旧図書館:約8,500㎡)</td> </tr> <tr> <td>(4) 開架冊数</td> <td>約30万冊(旧図書館:約11万冊)</td> </tr> <tr> <td>(5) 書庫収蔵能力</td> <td>約200万冊(旧図書館:約75万冊)</td> </tr> <tr> <td>(6) 閲覧席</td> <td>約500席(旧図書館:73席)</td> </tr> <tr> <td>(7) 駐車台数</td> <td>約400台(旧図書館:32台)</td> </tr> </table> <p>3 新しい利用ルール ～禁止から許容へ～</p> <p>(1)「おしゃべり」をしても良い図書館(他人に迷惑にならない範囲で)</p> <p>(2)「文化交流エリア」では、飲食共に可能とし、「閲覧エリア」ではペットボトル、水筒等、蓋が閉まる飲み物に限り持ち込み可能。食事は不可。</p>	(1) 敷地面積	約33,000㎡	(2) 建築面積	約7,300㎡(旧図書館:約2,000㎡)	(3) 延べ面積	約22,000㎡(旧図書館:約8,500㎡)	(4) 開架冊数	約30万冊(旧図書館:約11万冊)	(5) 書庫収蔵能力	約200万冊(旧図書館:約75万冊)	(6) 閲覧席	約500席(旧図書館:73席)	(7) 駐車台数	約400台(旧図書館:32台)
(1) 敷地面積	約33,000㎡														
(2) 建築面積	約7,300㎡(旧図書館:約2,000㎡)														
(3) 延べ面積	約22,000㎡(旧図書館:約8,500㎡)														
(4) 開架冊数	約30万冊(旧図書館:約11万冊)														
(5) 書庫収蔵能力	約200万冊(旧図書館:約75万冊)														
(6) 閲覧席	約500席(旧図書館:73席)														
(7) 駐車台数	約400台(旧図書館:32台)														

## 地方都市行政調査 報告書

委員会	区民委員会		
調査年月日	令和6年10月25日(金)	調査場所	愛知県半田市
委員	委員長 伊藤 のぶゆき 副委員長 横田 ゆう 副委員長 石毛 かずあき 委員 さの 智恵子 委員 市川 おさと 委員 くじらい 実 委員 岡田 将和		

調査項目	総合型地域スポーツクラブについて
調査の目的	総合型地域スポーツクラブの存続、活性化を研究するため、半田市の総合型地域スポーツクラブを調査する。
調査内容	<p>半田市においては、全国に先駆けて平成8年3月に岩成スポーツクラブを設立。市内5中学校区全てに総合型地域スポーツクラブを設立し、育成に取り組んでいる。半田市のスポーツ政策の基本理念は、第3次半田市スポーツ推進計画において「生涯スポーツ社会＝だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる社会の実現を図ること」としている。そのうえで、この理念を実現するための基本方針（達成目標）・として、「成人市民のスポーツ実施率 65%」「総合型地域スポーツクラブ会員数市内合計8,000人」を設定している。</p> <p>5クラブ中3クラブで法人格を獲得するなど、基盤強化に積極的な姿勢がみられる。5つの中学校区それぞれにクラブが設立されているため、地域住民がなじみの地域で活動できる体制は、「総合型地域スポーツクラブ」という概念に沿ったものである。今後も、地域、学校、行政が連携して理解を深め合い、総合型地域スポーツクラブがより一層地域に融合するように努めている。</p> <p>については、本事業における半田市の取り組みについて調査した。</p>
主な質疑	<p>(問) 高齢化に対する対応について伺う。</p> <p>(答) 基盤の強化、組織の強化を図っている。また市として補助金を出し、基盤、組織強化につなげる働きかけを行っている。</p> <p>(問) すべての中学校区に設立するまでに地域住民からの理解や協力は得られたか伺う。</p> <p>(答) 各地域の連携が強く、地域のまとめ役と時間をかけて落とし込んでいった。</p> <p>(問) 会員になる要件を伺う。</p> <p>(答) 特になく、市外の方も参加可能。</p> <p>(問) 障がい者のスポーツ参加について伺う。</p> <p>(答) 「だれでもスポーツを楽しむように」という基本理念に基づき、障がい者スポーツも推進している。イベントも障がい者も一緒に参加できるようなものに拡充している。古い小学校などもあり、ハード面の整備が追い付いていない部分もある。</p>
委員長所見・区政に活かせる点等	全国に先駆けて平成8年に総合型地域スポーツクラブを設立し、中学校区全てに総合型地域スポーツクラブを設立。5クラブ中3クラブが法人格を取得し、組織存続のため、育成に取り組んできた成果として、基盤、組織強化に繋げている本事業は大変先進的であった。